MSD12-60002
MODELLISTA フロントバンパーガーニッシュ

取付・取扱要領書

このたびはモデリスタ フロントバンパーガーニッシュをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本書には本商品の取り付け・取り扱いについての要領と注意事項を記載してあります。
取り付け前に必ずお読みのうえ、正しい取り付け・取り扱いを実施してください。
なお、本書は必ずお客様にお渡しください。

● 本商品は登録後架装を前提としています。

■品番・適合車種

品番	適合車種	備考
MSD12-60002	ランドクルーザー 70　'23/11 ～	

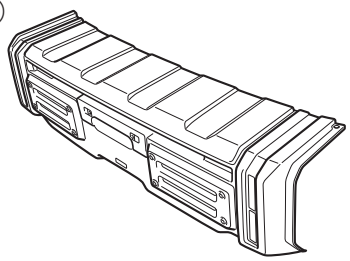
・最新の適合情報はモデリスタ カタログサイトをご覧ください。https://www.modellista.co.jp/

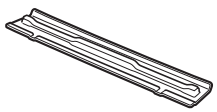
■構成部品

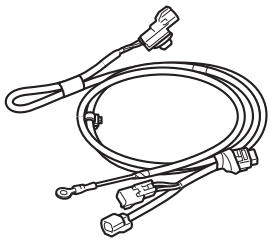
No.	品名	個数	備考
①	フロントバンパーガーニッシュ本体（ランプ付）	1	
②	センターベース	1	
③	電源ハーネス	1	
④	結束バンド	8	
⑤	クリップ	2	
⑥	六角フランジタッピング	2	M6 × 20 mm
⑦	型紙	1	
⑧	PAC プライマー（K-500）	1	
⑨	取付要領書	1	

※確認・本商品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。

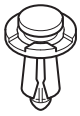
■構成部品図

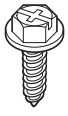
①


②


③


④

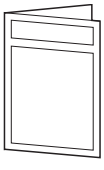

⑤


⑥


⑦

型紙

⑧


⑨


取り付け上のご注意（取り付け作業者の方へ）

作業を行う前に必ずお読みになり、安全で確実な取り付け作業を行ってください。

⚠ 警告	この内容に従わず、誤った取り付け・取り扱いを行うと生命の危険または、重大な傷害等を負う可能性がある内容について記載しています。
⚠ 注意	注意事項を守らないで、誤った取り付け・取り扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがある事を記載しています。
アドバイス	スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

⊘ やってはいけないこと　　❗ 必ず行なっていただくこと

⚠ 警告

⊘ 本商品への改造・加工、及び適合車種（12V 仕様）以外への装着は、重大な事故や故障を招くおそれがありますので絶対に行わないでください。

❗ 本商品の取り付け・交換は、該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、本書の注意事項をまもり作業を行ってください。

❗ 取り付け作業は規定トルクに従って、確実に締め付けてください。締め付けが足らないと脱落などにより重大な事故や故障を招くおそれがあります。

⚠ 注意

❗ 必ずバッテリーのマイナス端子を外してから作業を行ってください。

❗ 本商品の取り付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合が無いことを確認してください。取り付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。
車両部品を再使用する場合がありますので、復元する際に間違えないよう配慮し、紛失しないように保管してください。

❗ 本商品の取り付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取り扱いを行ない、同時に取り付け部位を保護材にて養生をした上で作業を行ってください。取り付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。

❗ 車を障害物のない平らな場所に停め、エンジンを止めてパーキングブレーキを確実にかけてください。

⊘ 車載ジャッキを使用しての作業は危険なので絶対に行わないでください。

❗ 車両が不安定な状態での作業は危険ですのでリジットラックなどを使い安全を確保してください。

⊘ 本書で指示した部品以外は、取り外さないように注意してください。

❗ ハーネスの固定は ハーネスが車両の可動部やエッジなどで摩擦や切断、圧迫・変形しないことを確認しながら作業を進めてください。 ハーネスが切断した場合、車両と短絡し車両火災につながる危険があります。（ ペダル / ワイヤー / ドア / ベルト / プーリーなどからは避けて配線してください ）

❗ ハーネスは振動などで震えないように結束バンドやクリップテープなどで固定をしてください。余ったハーネスはたるまないように、ハーネスバンドまたはビニールテープで束ねて車体配線などに固定してください。

❗ ハーネスは可動部などに噛み込まれないように配線してください。ハーネスがエッジ部に当たる時は、市販のクッションテープなどでハーネスを保護してください。

❗ コネクターや端子は確実に接続してください。配線が完了したら必ず導通確認をしたのち、作動確認をしてください。

⊘ ハーネスは高温部（ エンジン / 過給機 / 排気管など ）から離して取り付けてください。ブレーキ配管及びエアコン配管などの高圧配管にはハーネスを固定しないでください。ハーネスは過熱するおそれがあるため、極端に小さく折りたたんでまとめて固定しないでください。

⊘ ハーネスやコネクターは強く引っ張らないでください。端子を抜く場合は端子本体を持って抜いてください。コードを引っ張ると接続部が損傷し、過熱などが発生してたいへん危険です。

取り付けが終わったら

❗ 本商品が、車両へ確実に取り付けされていることを確認してください。

❗ 取り付け完了後、固定部分が指定トルクで締まっていることを再度点検してください。

❗ 取り付け完了後、本商品及び車両部品に傷がついていないことを点検してください。
作業中にバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。

❗ 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。当該車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、各部の点検・設定を行ってください。

❗ バッテリー復元作業後に、車両システムによっては初期化が必要な場合があります。車両修理書を参考に初期化作業を行ってください。※車両システムの初期化は、GTS などのツールが必要な場合があります。

■目次

1. 表紙、品番・適合車種、構成部品、構成部品図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
2. 取り付け上のご注意（取り付け作業者の方へ）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
3. 目次、取り付けに必要な工具・保護具・消耗品、保証について・・・・・・・・・・・・・・ 3
4. 取り付け要領 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3～12
5. 取り付け完了後の点検・注意事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12

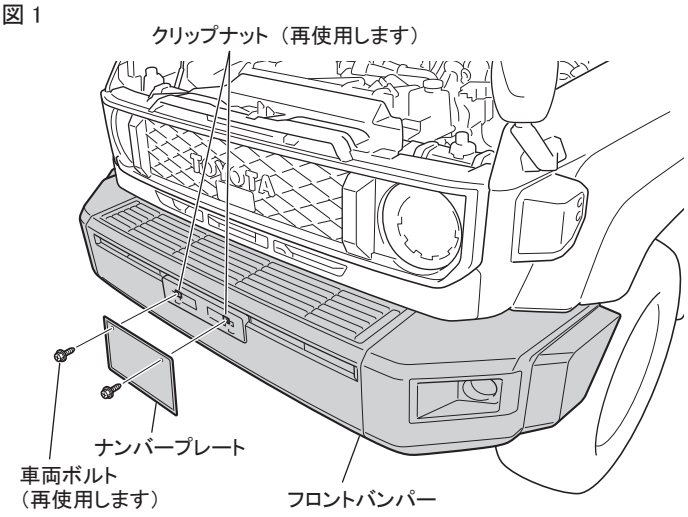
■取り付けに必要な工具・保護具・消耗品

・一般工具・トルクレンチ・電動ドリル（刃：3mm/4mm/40mm）
・軍手・保護シート・保護テープ・マスキングテープ・養生テープ
・イソプロピルアルコール（IPA）など・清潔なウエス

■保証について

本商品は、1年・20,000km の保証を実施致します。
（1年または 20,000km 走行時点のいずれか早い方まで）
※保証の詳細はモデリスタ パーツカタログサイト＜ https://www.modellista.co.jp/ ＞
「保証について」をご覧ください。

図 1



□車両部品の取り外し

1. バッテリークランプ SUB-ASSY とバッテリーを取り外す。
2. バッテリーキャリアを取り外す。
3. ナンバープレートを取り外す。
4. フロントバンパーからクリップナットを取り外す。
5. フロントバンパーを取り外す。

アドバイス
・取り外した車両部品は復元しますので、紛失や破損に注意して大切に保管してください。

□ランプハーネスの取り付け

図 2

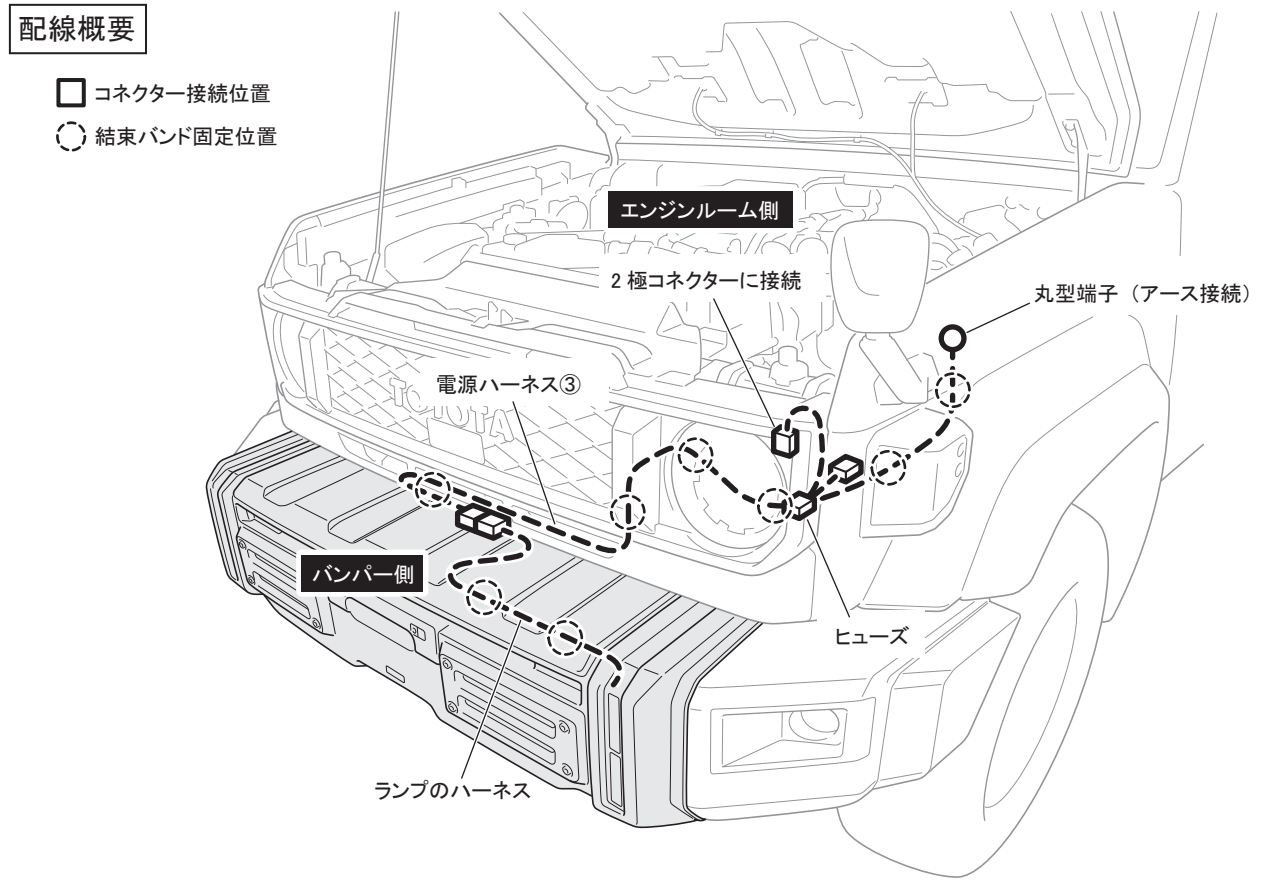
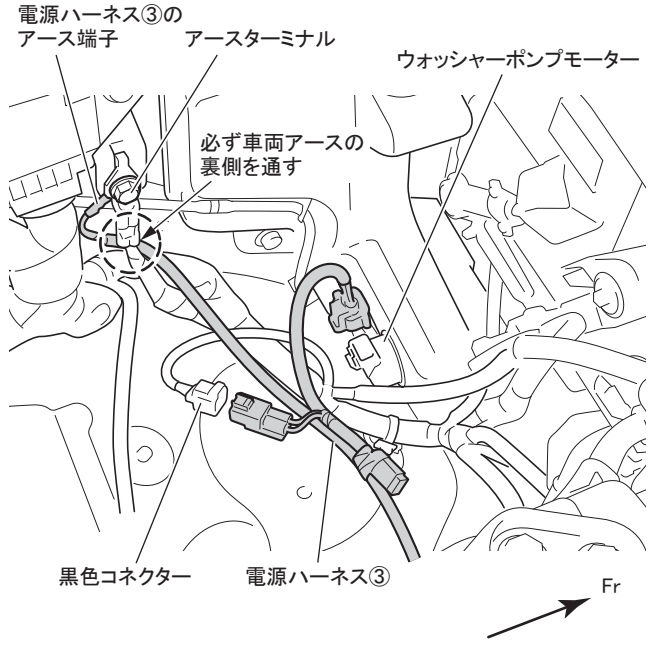


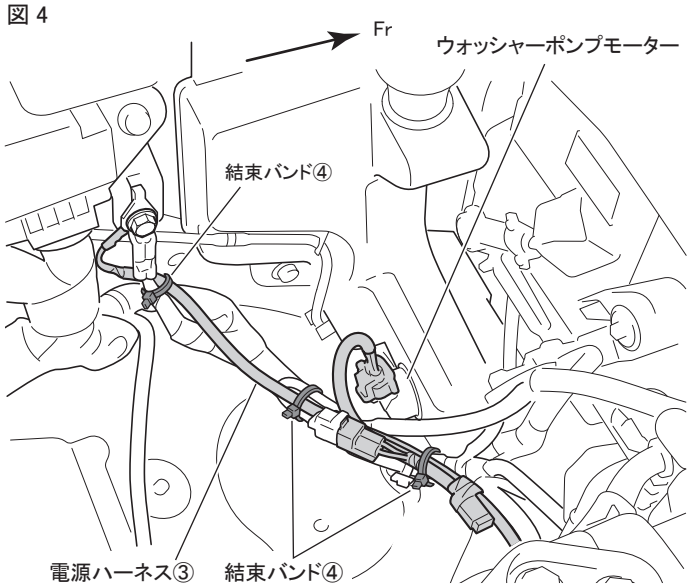
図 3



1. ウォッシャーポンプモーターに差し込んである黒色コネクターを外し、電源ハーネス③の薄灰コネクターを割り込ませる。
2. 外した黒色コネクターを電源ハーネス③の薄灰コネクターに接続する。
3. 電源ハーネス③のアース端子を車両のアースターミナルに共締めし固定する。

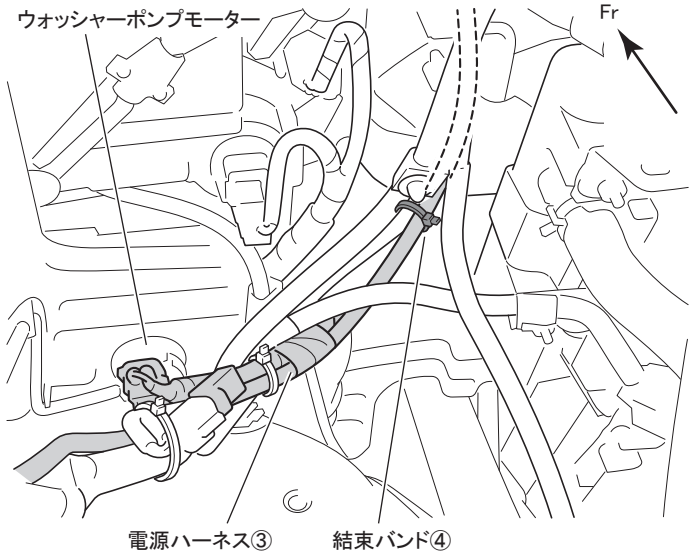
⚠注意：コネクターの接続は確実に行ってください。
アース端子の締結は確実に行ってください。
ウォッシャーホースとの干渉、噛み込み、圧迫、変形がないように固定してください。

図 4



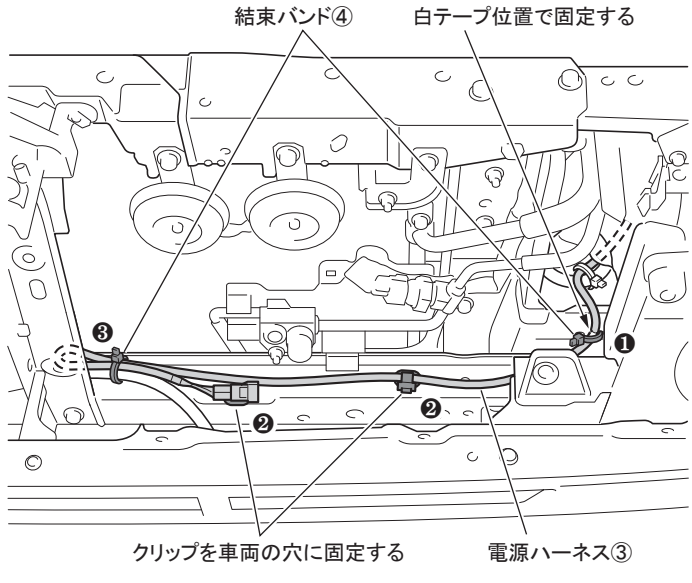
4. 電源ハーネス③を結束バンド④で車両ハーネスに固定する。

図 5



5. 電源ハーネス③を車両ハーネスに沿ってバンパー側へ配線し、結束バンド④で車両ハーネスに固定する。

図 6



6. 電源ハーネス③の白テープ部を左図の車両の穴に合わせ、結束バンド④で固定する（❶）。
7. 電源ハーネス③のクリップを車両の穴に固定する（❷）。
8. 電源ハーネス③を結束バンド④で車両ハーネスに固定する（❸）。

⚠注意：エッジに電源ハーネス③が干渉しないように配策してください。

❶部拡大

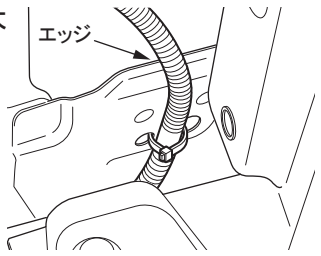
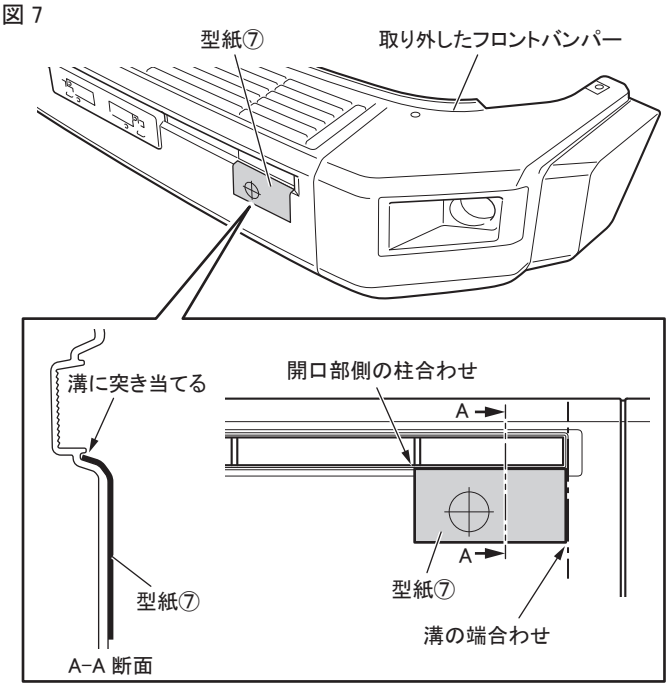


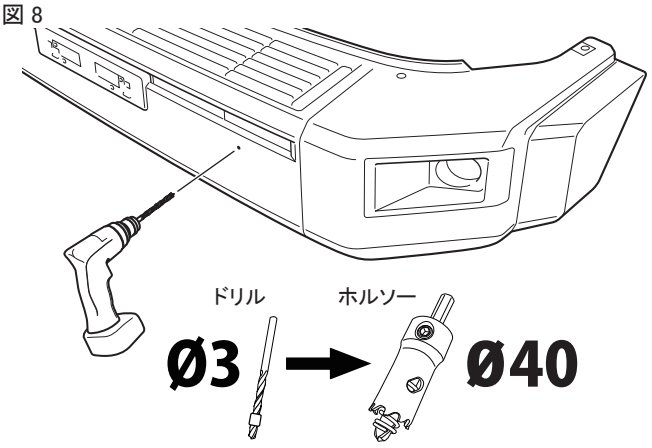
図 7



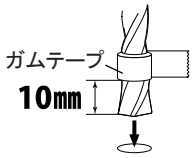
□車両部品の加工

1. 図のように型紙⑦をフロントバンパーの形状に合わせて貼り付ける。
2. 型紙⑦の穴位置をセンターポンチなどでマーキングして、型紙⑦をはがす。

図 8



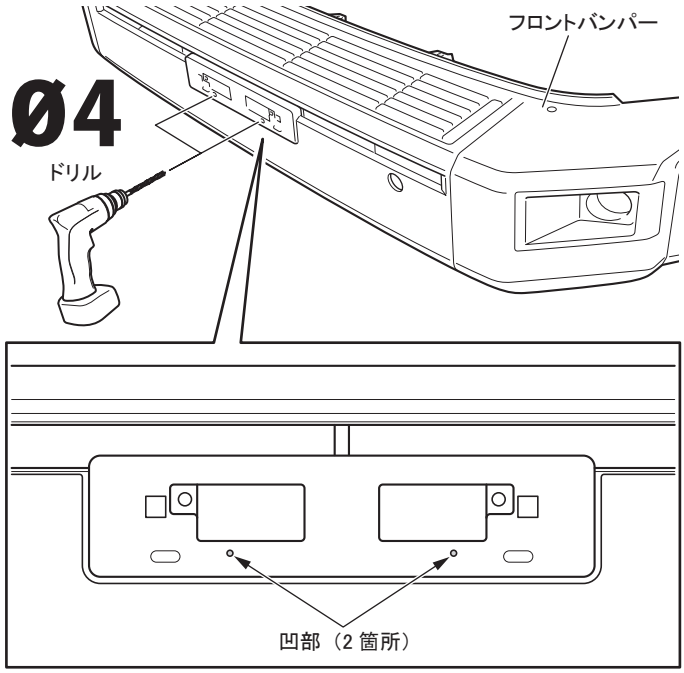
3. 下図を参照し、ドリルの先端にストッパーとして10 ㎜の位置にガムテープを巻き付ける。



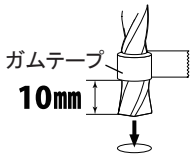
4. マーキング位置に Ø3 で下穴をあける。
5. Ø40 のホルソーで本穴をあけ、丸やすりなどでバリを取り除く。

> ⚠注意：穴あけ加工をする際はフロントバンパーを動かないようにしっかり固定し、部品の損傷やケガに十分注意しながら行ってください。

図 9



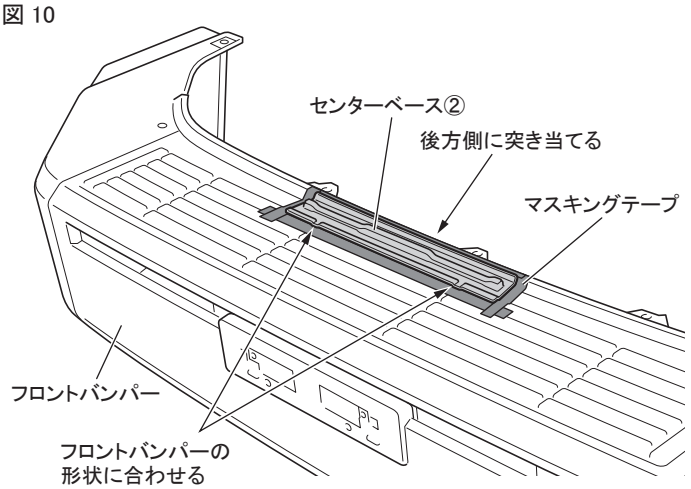
6. 下図を参照し、ドリルの先端にストッパーとして10 ㎜の位置にガムテープを巻き付ける。



7. ナンバープレート取付部の凹部に Ø4 で穴をあけ、丸やすりなどでバリを取り除く。

> ⚠注意：穴あけ加工をする際はフロントバンパーを動かないようにしっかり固定し、部品の損傷やケガに十分注意しながら行ってください。

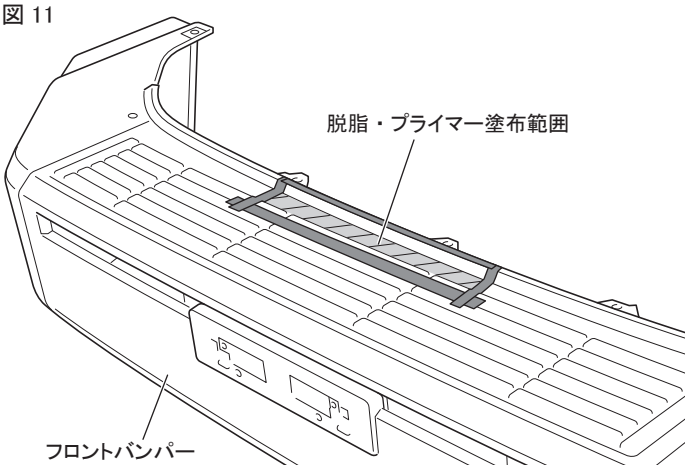
図 10



□センターベースの取り付け

1. センターベース②をフロントバンパーの形状に合わせてあてがい、取り付け位置をマスキングテープで図のようにマーキングする。
2. センターベース②を取り外す。

図 11

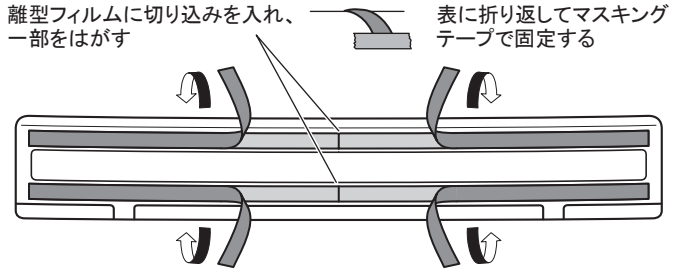


3. フロントバンパーの両面テープ貼り付け部（左図斜線部）を清掃・脱脂し、PAC プライマー⑧を塗布する。

アドバイス

PAC プライマー⑧使用上の注意については、付属の説明書をご覧ください。

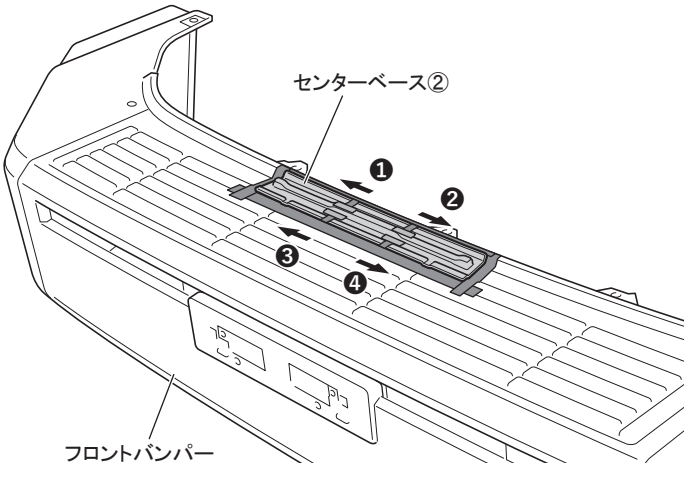
図 12



4. センターベース②の両面テープ離型フィルムを一部はがし、表に折り返してマスキングテープなどで貼り付ける。

5. センターベース②をフロントバンパーのマーキングと形状に合わせてあてがい、隙などずれがないことを確かめ、折り返した両面テープの離型フィルムを引き抜き圧着する。
6. マスキングテープをはがす。

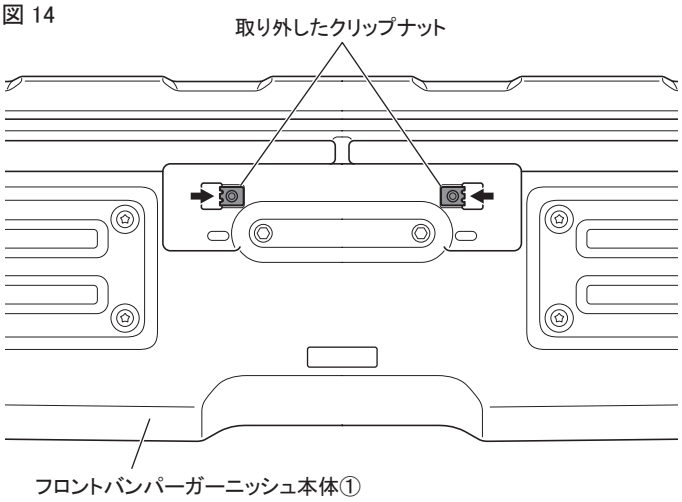
図 13



アドバイス

- 両面テープは気温が 15℃以下になると接着力が低下します。 気温が低い場合は、作業前に両面テープ及び被接触面をドライヤーなどであたためてから作業を行ってください。
- 両面テープの圧着は 49N·m（5kgf/cm2）以上で行ってください。
- 取り付け完了後、3時間程度は強い力をかけたり水に濡れない様に注意してください。両面テープのはがれや取り付け部分に隙間が発生する可能性があります。

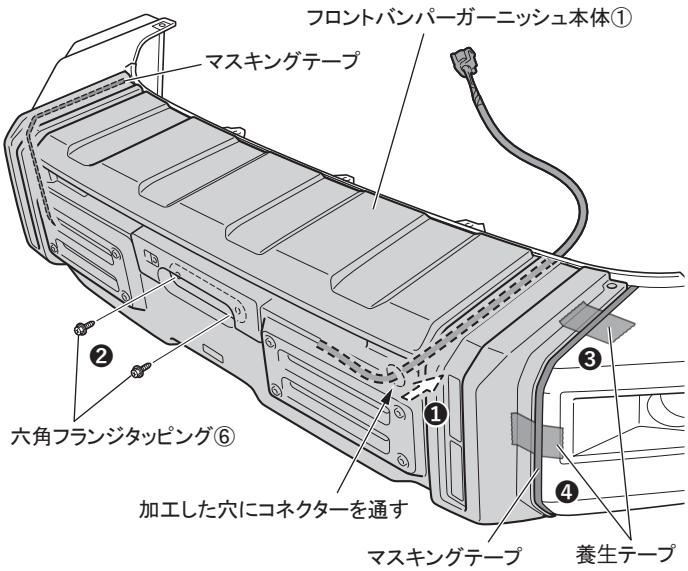
図 14



□フロントバンパーガーニッシュ本体の取り付け

1. 「車両部品の取り外し」でフロントバンパーから取り外したクリップナットを、フロントバンパーガーニッシュ本体①に取り付ける。

図 15

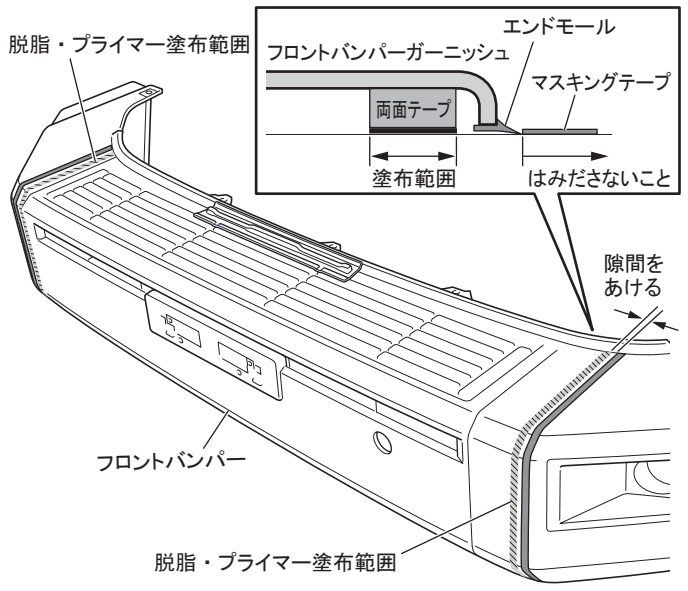


2. フロントバンパーにあけた穴にフロントバンパーガーニッシュ本体①のコネクターを通す（❶）。
3. フロントバンパーガーニッシュ本体①をフロントバンパーにあてがい、六角フランジタッピング⑥で仮組みする（❷）。
4. 上下左右の位置を合わせてフロントバンパーガーニッシュ本体①を養生テープで固定する（❸）。

> アドバイス
> 意匠面を必ず揃えてください。

5. 取り付け位置をマスキングテープで図のようにマーキングする（❹）。
6. フロントバンパーガーニッシュ本体①を取り外す。

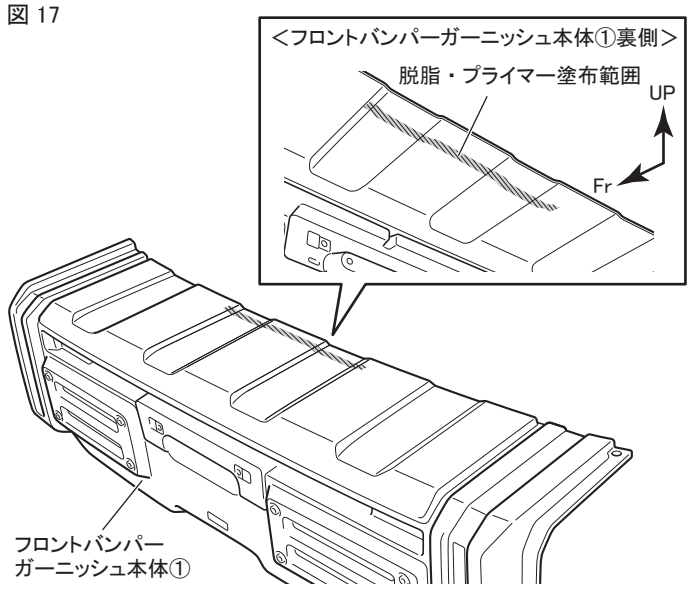
図 16



7. フロントバンパーの両面テープ貼り付け部（左図斜線部）を清掃・脱脂し、PAC プライマー⑧を塗布する。

> アドバイス
> PAC プライマー⑧使用上の注意については、付属の説明書をご覧ください。

図 17

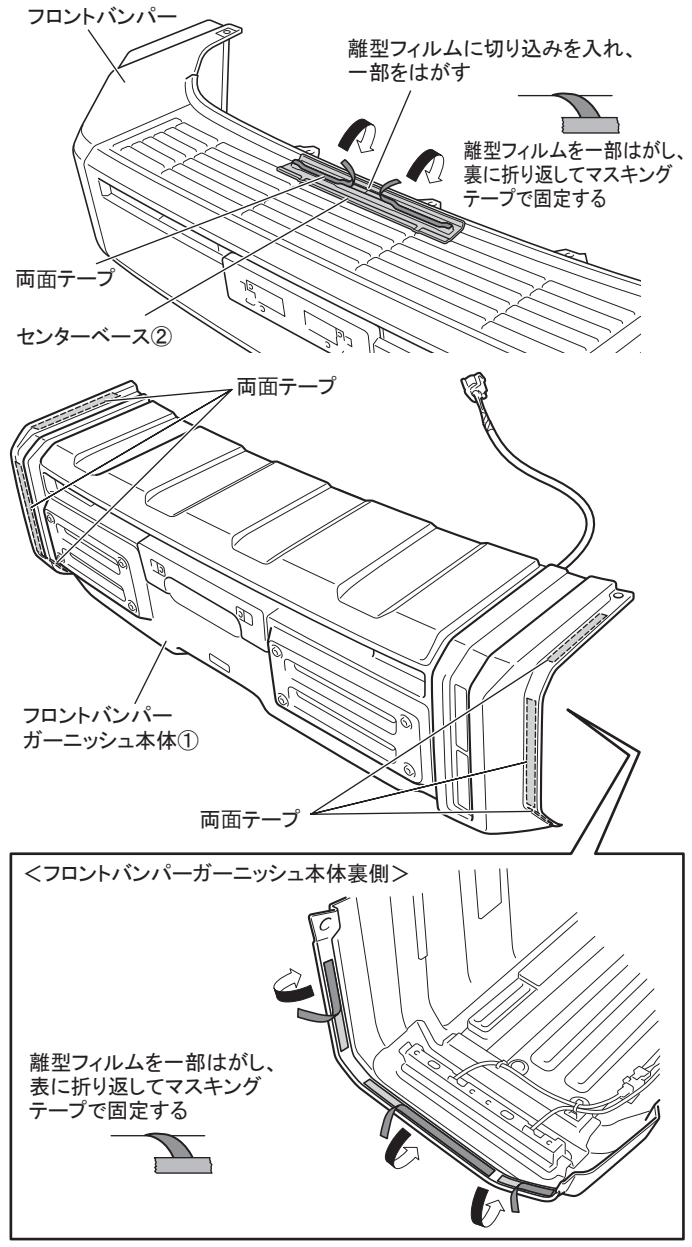


8. フロントバンパーガーニッシュ本体①裏側の両面テープ貼り付け部（左図斜線部）を清掃・脱脂し、PAC プライマー⑧を塗布する。

アドバイス

PAC プライマー⑧使用上の注意については、付属の説明書をご覧ください。

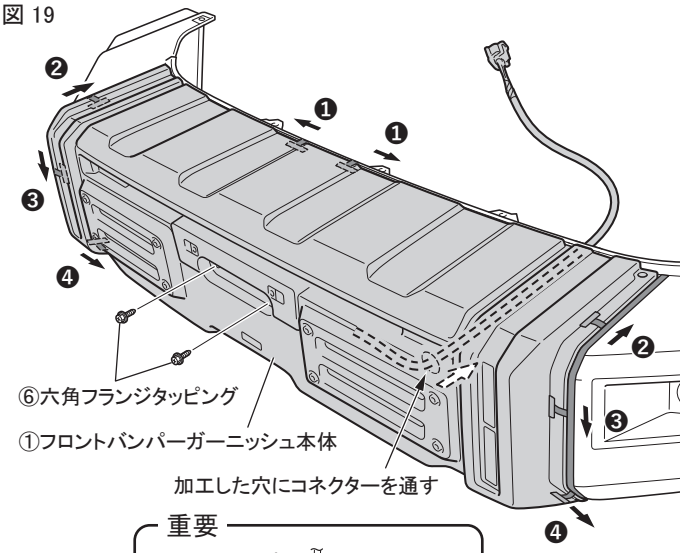
図 18



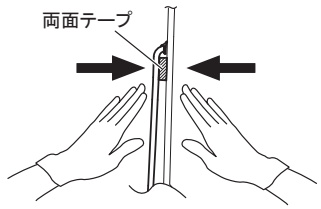
9. センターベース②の両面テープ離型フィルムを一部はがし、折り返してマスキングテープなどで貼り付ける。

10. フロントバンパーガーニッシュ本体①の両面テープ離型フィルムを一部はがし、折り返してマスキングテープなどで貼り付ける。

図 19



重要



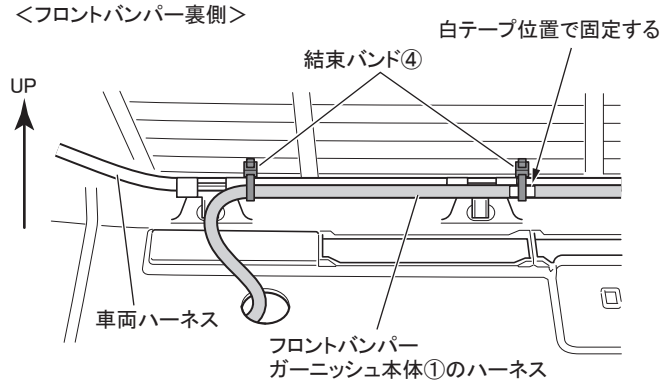
11. マスキングテープに合わせてフロントバンパーガーニッシュ本体①を取り付け、六角フランジタッピング⑥で固定する。

12. 上下左右のバランス、隙などのズレがないことを確認し、折り返した両面テープの離型フィルムを図の順に引き抜きながら圧着する。

アドバイス

・両面テープは気温が 15℃以下になると接着力が低下します。 気温が低い場合は、作業前に両面テープ及び被接触面をドライヤーなどであたためてから作業を行ってください。
・両面テープの圧着は 49N·m（5kgf/cm2）以上で行ってください。
・取り付け完了後、3時間程度は強い力をかけたり水に濡れない様に注意してください。両面テープのはがれや取り付け部分に隙間が発生する可能性があります。
・両面テープは接着面を両側から手で押さえるようにしっかりと圧着してください。

図 20



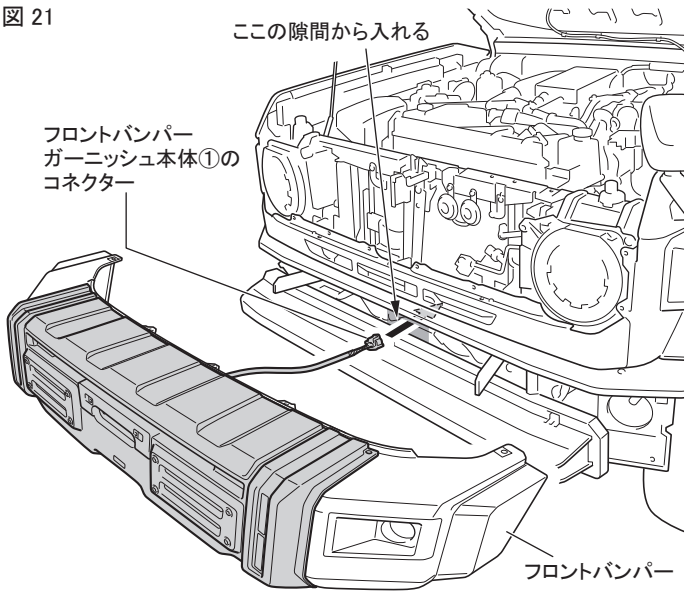
13. すべてのマスキングテープをはがす。

14. フロントバンパーガーニッシュ本体①のハーネス白テープ部をフロントバンパー裏側の左図の位置に合わせる。

15. フロントバンパーガード本体①のハーネスと車両ハーネスを結束バンド④で固定する。

⚠注意：あけた穴のエッジにハーネスが干渉しないように固定してください。

図 21



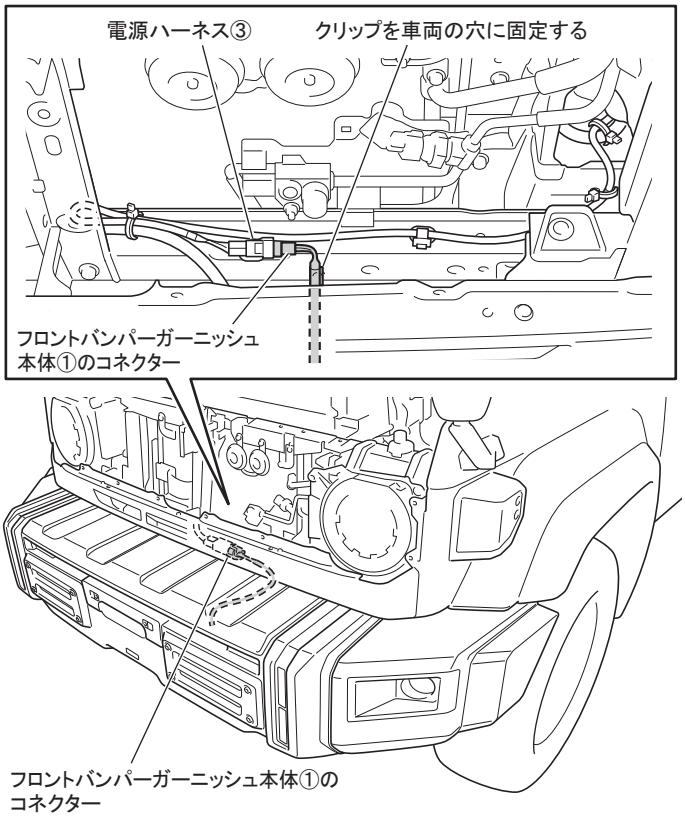
□フロントバンパーの取り付け

1. フロントバンパーガーニッシュ本体①のコネクターを左図の隙間に通してから、フロントバンパーをもとの位置に戻す。

アドバイス

フロントバンパーを取り付ける際に、フロントバンパーガーニッシュ本体①のハーネスを挟まないように注意してください。

図 22



2. フロントバンパーガーニッシュ本体①のコネクターを電源ハーネス③に接続し、クリップを車両の穴に固定する。

アドバイス

フロントバンパーを脱着する際はクリップ部のテープを切り、取り外してください。復元時はクリップ部にテープで固定してください。

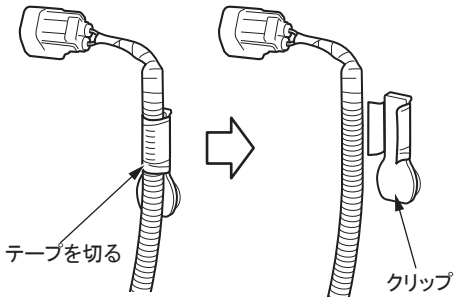
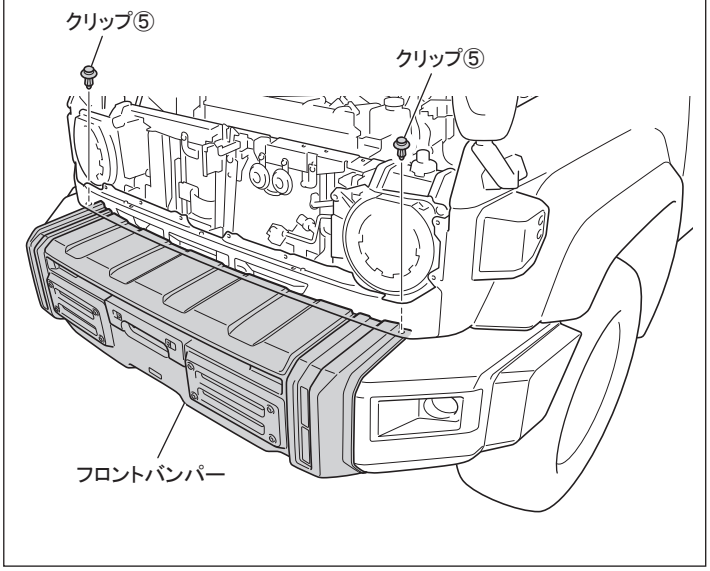


図 23



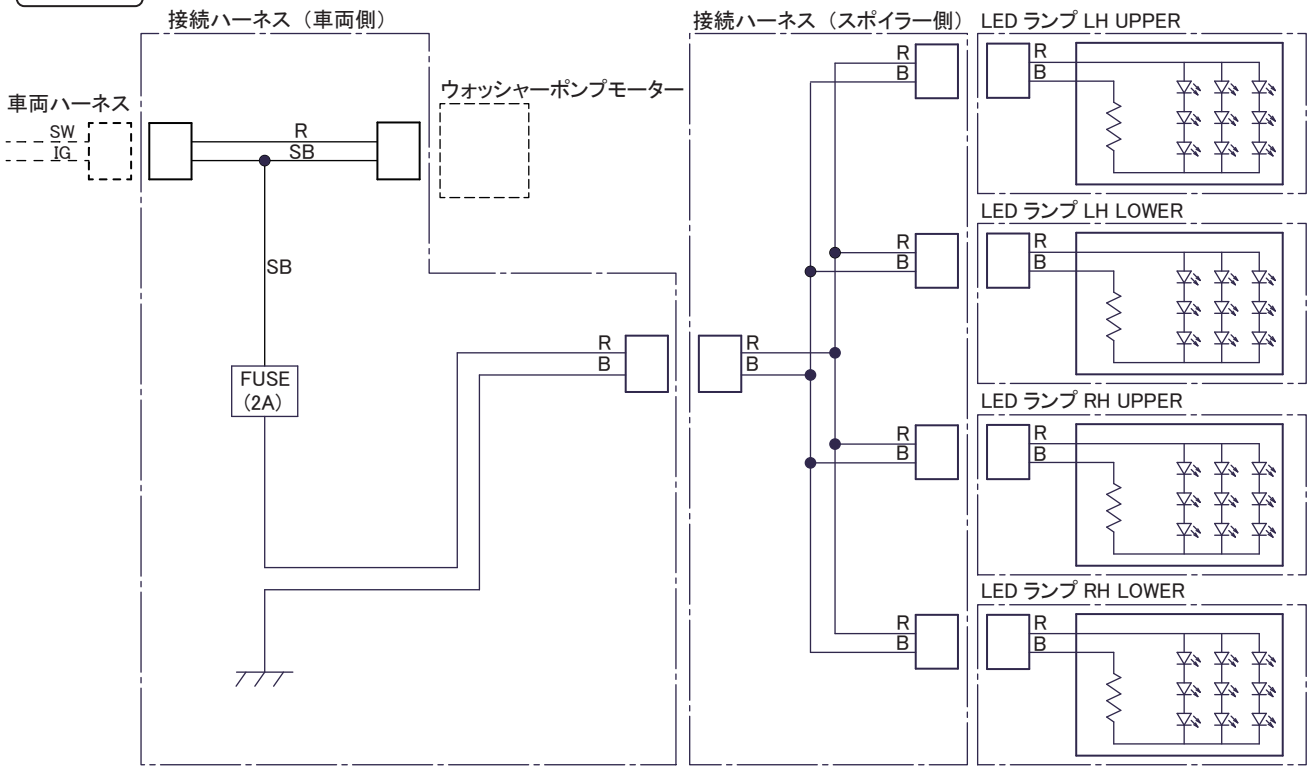
3. クリップ⑤を使用してフロントバンパーを固定する。

アドバイス

もともと左図の箇所を固定していた車両クリップは使用せず、本体商品付属のクリップ⑤使用してください。

4. 車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、取り外していた車両部品を復元する。

回路図



■取り付け完了後の点検・注意事項

1. 製品全周に渡り、浮き・剥がれ等、無いことを確認してください。
2. 車両及び製品廻りに傷が付いていないことを確認してください。
3. 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。
4. 該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

株式会社トヨタカスタマイジング＆ディベロップメント
モデリスタ商品問い合わせ窓口
TEL：050-3161-1000
https://www.modellista.co.jp

MODELLISTA　JAOS
Experience a New Adventure.

脱脂作業要領書

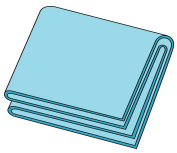
本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を
解説動画でご覧いただけます。
右のＱＲコードよりアクセスのうえ
ご確認ください。

①エアロ取付準備・脱脂　（約 3 分）
②エアロ位置決め・取付・圧着（約 6 分）
③デカール準備・水貼り・圧着（約 4 分）
合計　約 13 分

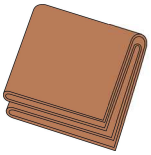
■　取付け時の脱脂作業に必要な工具等


水拭き用バケツ


合成セーム皮


脱脂剤用
スプレーボトル


ゴム手袋


DRY 用
ウエス


WET 用
ウエス


イソプロピルアルコール(IPA)
※純度 100%推奨

■　脱脂作業上の注意事項

1．ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
2．隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等は行わないで下さい。
　※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
3．脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
4．脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
5．脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

⚠注　意・・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

アドバイス・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。

★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。
下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。
大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。
脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。
≪脱脂作業前に≫以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

■　脱脂作業前に

- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。
  汚れのひどい場合は、洗浄剤を使用して汚れを落とし、洗浄剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。
  ※コーティング剤が残っていると両面テープはハガレます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

■　脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。

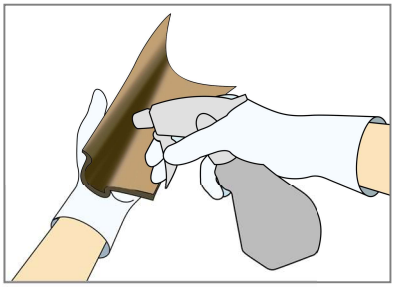

水拭き用バケツ


合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。


WET 用ウエス

※　ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。

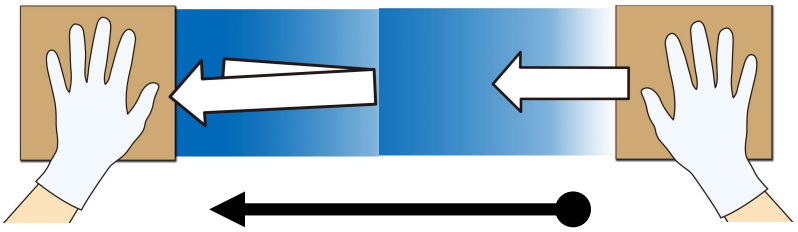


WET 用ウエスにスプレーボトルを５cm ほど離して、初回は１０回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。
以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で５回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】
脱脂剤を含ませたウエスで
１往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

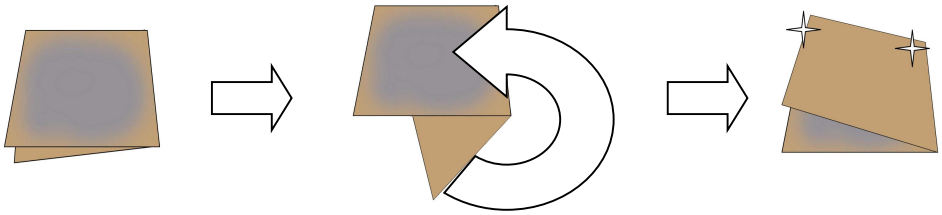
②【DRY 拭き】
DRY 拭きウエスで一方向に
拭き上げ油脂分を取り除く



１ブロック６０ｃｍ程度として両手に WET と DRY のウエスを交互に持ち
WET⇒DRY の順に拭き上げて脱脂する。
範囲が広い場合は１ブロック毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる

WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを
行ってください。
（上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。）

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が
残っていますので、再度 WET・ DRY 拭きを行ってください。



WET／DRY のウエス共に３～５ブロック毎にウエス表面を折り返し
ウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。

汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に
再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際に
ウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。
作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。
パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書に
したがって行ってください。